

## 大 信 村 の あ ゆ み

西 暦	時 代		お も な で き ご と	
1783 1796 1833	江戸	天明	・天明の大ききんがあった。	
		寛政	・白河藩の街道に松並木をうえた。	
		天保	・天保の大ききんがあった。	
1868  1870 1873 1874  1876 1887  1889 1890 1896 1901 1907  1910 1911	明治	元年	・戊辰戦争のため、家が焼かれ田畑があらされた。 ・幕府がほろび、藩をやめて若松・福島・白河県がおかれた。	
		3	・人々にみょう字がゆるされた。	
		6	・5つの村を合わせ、信夫学区に小学校ができた。	
		7	・隈戸村上小屋に民家をかり、小学校ができた。 ・新城小と町屋小に分かれた。	
		9	・隈戸小と下小屋小に分かれた。	
		20	・新城と町屋と増見の3校が一つになり、新城小ができた。 ・隈戸と下小屋の2校が一つになり、下小屋小ができた。 ・東北本線が開通した。	
		21	・大里村下小屋と隈戸村が一つになって、大屋村ができた。	
		23	・信夫小飯土用分教室ができた。	
		29	・茨城街道ができ、町やを通った。	
		34	・大屋村役場が宮沢にうつった。	
		40	・大屋小は西宿の新しい校舎にうつった。 ・大屋巡査駐在所が上小屋にできた。	
		43	・信夫小に高等科がおかれた。	
		44	・外面に新しく校舎をたて、外面分教場ができた。	
1915 1918 1920 1923		大正	4	・滑里川に季節分校をつくった。
			7	・大屋小に高等科がおかれた。
	9		・隈戸に電気会社ができ、信夫・大屋に電灯がついた。	
	12		・大屋村役場が新しくできた。	
1927  1936 1938 1940 1941  1942 1945 1947  1949 1950 1951  1953	昭和	元	・白河町・牧の内間、矢吹町・上小屋間に乗合自動車を通った。 ・信夫と大屋に郵便取扱所ができた。	
		11	・信夫に郵便局ができた。	
		13	・信夫郵便局が電報電話をとりあつかった。	
		15	・大屋に郵便局ができた。	
		16	・小学校は、国民学校にかわった。 ・太平洋戦争がはじまった。	
		17	・大屋郵便局で電報電話をとりあつかった。	
		20	・太平洋戦争が終わった。	
		22	・新しい学校のしくみがつくられ、小学校となった。 また、信夫中・大屋中学校ができた。	
			・信夫小からわかれ、信夫二小ができた。	
		24	・大里村とわかれ、大屋村ができた。	
		25	・大屋中の校舎ができた。	
		26	・大屋村は西白河郡に入った。 ・信夫中の校舎ができた。	
		28	・大屋小中と駐在に電話がひかれた。 ・東北地方が冷害にあった。 ・このころから耕運機がつかわれた。	